



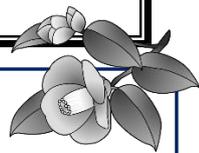
学校だより

# 開桜 2月号

令和5年1月25日

大田区立開桜小学校

校長 森 伸一



## 伝統文化を大切にする

副校長 中村 幸夫

2023年(令和5年)が明けてから、早いもので、2月を迎えることになりました。2月4日(土)は立春で、暦の上ではこの日から春となります。もちろん、まだまだ厳しい寒さは続きますが、立春と聞くと、春はもう近くまで来ているんだと、気持ちが前向きになる方も多いのではないのでしょうか。

先月、園芸ボランティアの方々が、開桜小学校に「春の七草」を届けてくださいました(正門側昇降口に飾られています)。「せり」「なずな」「ごぎょう」「はこべら」「ほとけのぞ」「すずな」「すずしろ」の七草が、今でも元気に青々とした葉をつけています。「春の七草」を見て、子供たちも小さな春を感じたかもしれません。

さて、「春の七草」と言いますと、日本では、新春の1月7日である人日(じんじつ)の節句の朝に、「春の七草」が入った粥(七草粥)を食べる風習があります。その昔から無病息災を願って食べられてきたようですが、確かに正月疲れで弱った胃腸には優しい食べ物です。「七草粥」は、先人の知恵から生まれた伝統文化の一つと言ってよいでしょう。

開桜小学校では、1月に、伝統文化の一つである「書き初め」と「凧揚げ」に取り組みました。「書き初め」は日本の年中行事の一つで、新年になって初めて毛筆で字や絵を書くことを指します。また「凧揚げ」は、平安時代に貴族の遊びとして中国から伝わってきた、日本における正月の遊びです。

「書き初め」は、1・2年生は硬筆で、3～6年生は毛筆で行いました。どの子供たちも教室で、また体育館で、気持ちを集中させて取り組みました。保護者の皆様には、1月28日(土)の学校公開での校内書初展にて、子供たちの思い思いに満ち、そしてのびのびとした作品をご覧になっていただけたと思います。また、「凧揚げ」は、2年生の子供たちが1月13日(金)に大森ふるさとの浜辺公園に行って凧揚げをして来ました。その日はあいにく風のない日で、走りながら必死に凧を揚げる子供たちも多かったようですが、多くの保護者の方々にも協力していただき、楽しい経験ができたことと思います。

これからも、私たち大人は、未来豊かな子供たちのために、伝統文化を伝え、子供たちの心を育てていくことが大切であると改めて思います。学校としても、教育活動に位置付け、保護者の皆様、地域の皆様と協力しながら進めてまいります。

まだまだ、コロナ感染状況は続き、インフルエンザも流行してきております。学校においては引き続き、マスクの着用、手洗いやうがい、アルコール消毒等、基本的な感染対策を徹底して予防に努めてまいります。

保護者の皆様、地域の皆様におきましては、今後ともご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 2月の行事予定

- 1日(水) 4校時授業 海苔付け体験(3年)
- 2日(木) 海苔付け体験(3年)
- 3日(金) 児童集会 4校時授業(1・2年)  
避難訓練(Jアラート発報時対応)  
新1年保護者会
- 7日(火) 大森ロータリークラブ留学生交流(1年)
- 8日(水) クラブ活動・クラブ見学(3年)
- 9日(木) 安全指導
- 10日(金) 体育朝会(高学年)
- 11日(土) 建国記念日
- 13日(月) 全校朝会
- 14日(火) 5校時授業
- 15日(水) 大田区小学生漢字検定②  
委員会活動(終)
- 16日(木) 卒業校外学習(6年)
- 17日(金) 体育朝会(低学年)
- 20日(月)～22日(水) 幼保見学会
- 21日(火) 東邦医大命の授業(5年)
- 22日(水) クラブ活動(終)
- 23日(木) 天皇誕生日
- 24日(金) クラブ発表
- 25日(土) 3校時授業 土曜補習  
6年生を送る会
- 27日(月) 全校朝会  
大森ロータリークラブ交流(6年)
- 28日(火) 5校時授業 保護者会(1・3・6年)

※SC(スクールカウンセラー) 在校日…火・木

◇読書週間 1/23～2/3

◇漢検チャレンジウィーク 2/6～2/15

## 寒さに負けず、元気に過ごしましょう

### 2月の生活目標

生活・保健部 橋本 麻実

1年で一番寒い時期になりました。朝は、手洗いが億劫になります。しかし、新型コロナウイルス感染症・インフルエンザに警戒が必要です。引き続き、手洗い・消毒をしっかりと行い、部屋の換気や湿度に気を付けて過ごすことを指導していきます。外遊びも、全校でできるようになりました。よく食べ、よく遊び、寒さを吹き飛ばしましょう。

## 専科の窓(音楽科・図工科・家庭科・算数習熟度別)

音楽科担当 荻野 志保

「何で学校には音楽の授業があるんだと思う？」3学期の始めに、音楽室に来た子ども達に問いかけました。音楽が「好き・得意」な児童、「苦手・あまり好きではない」児童と様々だと思いますが、「1人ではできないこと」「皆で創り上げる喜びを味わうこと」が、学校での音楽活動の意義の一つであると考えます。

今年度は、感染対策を講じた上で学級ごとの合唱および器楽合奏を行い、その成果を録画・録音して聴き合いをする“オンライン発表”を授業にて行いました。目標を持ち、試行錯誤しながらより良い表現を求める子ども達の姿を見て、「1人1人が伸び伸びと表現し、歌声(音)響く開桜小」を目指していきたいと改めて感じています。

家庭科担当 渡邊 裕子

展覧会では、5年生も6年生もミシン縫いの作品を製作しました。家庭科ではミシンやアイロン、裁ちばさみや縫い針など危ない用具をたくさん使います。家庭科の一番の目標は「安全に気を付けて活動しよう」です。子供達は安全の約束をよく守り、大きなけがもなく活動できています。昨年は実施できなかった調理実習も、今年度は感染対策を万全にし、クラスを2分割にして行うことができました。包丁やガスコンロの扱い方など初めて体験する子どもも多く、緊張しながらも楽しい調理実習となりました。おうちで家族に作ってあげたという声が多く聞かれ、嬉しく思います。



図工科担当 川名 修

今年度は展覧会がありました。「夢いっぱいひろげよう」をテーマに行いました。図工の授業では、様々な材料と出会い、いろいろな用具を使いました。そして、手や体全体を働かせて自分の色、形、イメージを表していきました。

その中で子供たちは、楽しみながら、自分の描きたいことや作りたい物を考え、材料や用具を使いながら、夢中になって作品作りに取り組んでいる姿が見られました。夢中になって過ごす時間は、子供たちにとって大切なことだと考えます。

これからも感染症対策に気を付けながら、できるだけ子供たちに時間が経つのも忘れて、夢中になって取り組める時間を授業の中でつくっていききたいと思います。

算数習熟度別指導担当 星野 美奈子

今年度も算数は、低学年は3クラス4展開、4クラス5展開で、中・高学年は3クラス5展開、4クラス6展開で習熟度に応じて学習を進めています。また、コロナやインフルエンザの状況により、クラス毎の授業に変更するなど感染症対策をとって進めています。

算数は、他の教科と違い「積み重ね」の授業です。前学年で学習したことを使って新しい学習を深める学習をするので、1時間1時間の授業が大切だと子供達に伝えていきます。

子供達に日々の学校生活を大切に、たくさんを積み重ねていってほしいと思います。



## 今年度の避難訓練について

生活・保健部 星野 美奈子

今年度の避難訓練は、昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、放送による廊下への避難が中心の訓練となりました。しかし、昨年度より校庭に避難する学年を2学年にするなど、より本番に近い形で避難できる学年を少しずつ増やし、感染症対策をとりながら、より多くの児童が経験できるようにしています。コロナウイルスがまん延していても災害はいつ起こるかわかりません。今後も学校では避難訓練を中止にせず、工夫しながら続けていきます。いざというときに、どのような行動をとるか、一人一人が考え、行動していけるよう、指導しています。ご家庭でも日常的に避難時の行動をお子様と話し合われることをお願いいたします。